

技術士業務研究会／2025年（令和7年）12月度 特別例会

☆開催日時：2025年（令和7年）12月16日(火) 19:00～

☆開催場所：大阪科学技術センター 会議室403号 対面（オンラインなし）

☆対面にて、直接講師と質疑応答をおこない、異業種の技術者との交流を深めてください。

(1) 12月特別例会 ご挨拶 (19:00～19:05) (5分)

会員状況、行事・参加者報告、行事予定、講師・見学先の選定状況

(2) 講演 (19:05～20:10) (講演50分、質疑応答15分)

講演テーマ：『兵庫県における水産業の振興』

講師：技術士（水産部門）兵庫県農林水産部水産漁港課 漁業経営班長 中桐 栄 氏

【概要】

兵庫県は、日本海と瀬戸内海という2つの海を有し、それぞれの特性を生かした多様な漁業が行われている。生産量では、養殖業が盛んな瀬戸内海が全体の約9割を占める。一方、日本海では沖合底引き網漁業が中心で、漁獲物の単価が高いため、生産金額では瀬戸内海が約8割、日本海が約2割を占めている。

日本海側は平均水深が深く、深層に日本海固有水が分布することから、寒冷で安定した海洋環境に恵まれており、ズワイガニなど深海に棲む資源の漁業が盛んである。資源の持続的利用を目的に、漁期の短縮やサイズ規制など、漁業者と関係者により様々な資源管理の取組が進められている。

瀬戸内海側は水深が浅く穏やかな一方で、地形の変化に富み、多種多様な魚介類が生息している。ノリを基幹とした藻類養殖や、マガキなどの貝類養殖も盛んである。しかし近年は、海の貧栄養化が進行しており、漁業者による「かいぼり」や「森づくり」、企業や行政による工場や下水処理場での栄養塩類管理など、関係者が一体となって環境改善に取り組んでいる。

また、こうした取組を県民に広く周知するため、各種イベントや発信活動にも力を入れており、県民一人ひとりが「豊かな海の再生」に向けて関心と理解を深められるよう努めている。

さらに、令和5年度から開始した若手職員研修を通じて人材育成にも注力している。今後も職員一丸となって、気候変動など新たな課題に対応し、持続可能な水産業の振興に取り組んでいく考えである。

(3) 懇親会 (20:30～22:30 (中締))

『目利きの銀次 肥後橋駅前店』 会費； 4,000円

住所； 大阪府大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル 地下1階

大阪科学技術センターより北へ徒歩10分ほど

地下鉄四つ橋線・肥後橋駅の5-Bの出口と直結。新石原ビルの地下1階です。

(地図) [目利きの銀次 肥後橋駅前店 - Google マップ](#)

(4) 申込締切：2025年12月10日（水）までに下記のURLからお申し込みください。

お申し込みURL：

<https://sites.google.com/view/gyoumuken/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

奮ってご参加ください。

【講師経歴】

ご氏名

中桐 栄（なかぎり さかえ）氏

技術士（水産部門）兵庫県農林水産部水産漁港課 漁業経営班長

ご職歴

平成 8 年 4 月 兵庫県入庁 洲本農林水産事務所配属（漁船事務、栽培漁業事務を担当）
平成 11 年 4 月 県立水産試験場（栽培漁業、水産業改良普及事業を担当）
平成 14 年 4 月 県庁水産課（資源管理、経営強化を担当）
平成 17 年 4 月 洲本農林水産振興事務所（組合指導等を担当）
平成 21 年 4 月 県庁水産課（水産環境整備事業（公共事業）を担当）
平成 25 年 3 月 技術士（水産部門）取得
平成 25 年 4 月 県庁消費流通課（食品のブランド化、兵庫県認証食品等を担当）
平成 28 年 4 月 加古川農林水産振興事務所（漁業許可、組合指導等を担当）
平成 30 年 4 月 県庁水産課（組合指導、浜プラン事務等を担当）
平成 31 年 4 月 水産技術センター（普及指導、海づくり大会事務、情報システム等を担当）
令和 6 年 4 月 県庁水産漁港課（普及指導、スマート化事業、輸出事務等を担当）

◇例会参加費 技術士業務研究会会員：無料 技術士業務研究会非会員：今回無料

近畿本部パスポート保持者：無料

（日本技術士会近畿本部合格者祝賀会に参加された新合格者に配布）

◇懇親会参加費 4,000 円(飲み放題付き)

◇申込 下記 HP からお申し込み下さい。 メールでの申し込みは不可。

業務研HP：

<https://sites.google.com/view/gyoumuken/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

以上